

34



螺湾(らわん)ブキ [足寄町]

足寄町の螺湾川に沿って自生する高さ2～3mに達する巨大なブキ。なぜ大きくなるのかはいまだに謎が多い。産学官が一体となった商品開発も進められている。

29



函館山と砲台跡 [函館市]

津軽海峡を望む函館山は明治中期に北方警備のため要塞化が進められ、多数の掩蔽壕・砲台座が残る。これほど大規模の旧状を残す軍事土木遺産は全国的にも稀。

25



姥神大神宮渡御祭/江差追分 [江差町]

姥神大神宮渡御祭は、ニシンの豊漁に感謝を込めて、約360年も続けられてきた伝統の祭。毎年8月上旬に行われる。13台の山車(やま)が、祇園囃子の調べによって町内を練り歩くさまは圧巻。

江差追分は、中山道の馬子唄をルーツとする北海道の代表的民謡。厳しい風土にもまれながら、多くの先達に唄い継がれてきた。国内はもとより海外にも、多くの愛好者を持つ。

35



旧国鉄土幌線コンクリートアーチ橋梁群 [上士幌町]

昭和初期建設の橋梁群。市民と産学官による運動の結果、34橋梁が保存された。担い手たちの活動は、産業遺産の保全・活用モデルとして全国的に知られる。

30



函館西部地区の街並み [函館市]

埠頭倉庫群のほか、明治期の大火後に再興された街並みが現存。ハイカラな洋風建築とともに和洋折衷がたくみな商家や住宅により独特の景観を創出している。

36



霧多布湿原 [浜中町]

一部は「霧多布湿原泥炭地形形成植物群落」として天然記念物に指定。ラムサール条約湿地にも登録されている。地域住民による湿原保全のトラスト活動も有名。

31



路面電車 [函館市、札幌市]

函館市電は大正2年に電車化、市民の足として大きく発展。一方、大正7年に始まった札幌市電は「市民の足」の花形だったが、現在は1路線を残すのみ。

26



上ノ国の中世の館(たて) [上ノ国町]

館とは、中世に多く造られた山城のこと。勝山館・夷王山墳墓群の発掘調査からアイヌ民族の墓も確認され、和人とアイヌ人の共生の証として注目されている。

37



摩周湖 [弟子屈町]

世界有数の透明度と乳白色の霧の風景で知られる北海道の代表的な湖。自然環境と調和した観光産業の活性化を試みる地域住民の取り組みも注目されている。

32



静内二十間道路の桜並木 [新ひだか町]

直線で7km、幅20間(約36m)にわたり、約3000本にのぼるエゾヤマザクラなどの並木が続く。雄大な日高山脈を背景とした景観は我が国で類を見ないスケール。

27



福山(松前)城と寺町 [松前町]

江戸時代の日本で最後に築城された城郭。城の北側には道内唯一の近世的な寺町があり、龍雲院、法源寺、松前家の菩提寺・墓所など5つの寺が現存している。

38



根釧台地の格子状防風林 [中標津町など]

そのスケールは地球規模的で、雄大なもの。防風効果、野生生物のすみかや移動通路としての機能のほか、開拓時代の殖民地区画を示す歴史的意義も持つ。

33



モール温泉 [音更町など]

泥炭を通して湧出。植物成分が多いのが他の温泉との違い。日本では北海道の十勝のほか、右狩平野や豊富町などに湧出。美容に効果があるとも言われている。

28



五稜郭と箱館戦争の遺構 [函館市など]

明治元年10月、旧幕府脱走軍の侵攻に始まる箱館戦争。五稜郭、四稜郭、土方歳三が戦死した一本木関門跡など、戦いの遺跡・遺構は道南一帯に見られる。